

”疑問・意見?”

天文学会評議員選挙結果の公表について

東大安田講堂が機動隊に囲まれ、夜空にヘリコプターが舞い、夜戦が戦わされた歴史の一こまを天文学者全てが忘れたわけでもあるまい。昭和44年頃の大学改革のうねりは全国の大学に広がり、とうとう大学運営臨時措置法を制定して警察の力でねじ伏せなければ収まらなかつた時代があつたことを。

この時代、天文学会にも民主化の改革を求める要求が突きつけられ、改革委員会を設置し理事会、評議員会、総会と議論に議論を重ねて行つた天文学会の民主化改革が評議員の特別会員による選挙制度であったことを語れる研究者も何人もいないのだろうか。

天文学会の民主化改革については、天文月報をひっくり返して読み返せばそれなりの記事がでてくるはずである。わたしは評議員を選挙で選ぶ改革案を成立させた庶務理事の一人である。その際理事会、評議員会、総会で奮闘したもう一人の庶務理事が今年停年で東大を去つて行きます(この人は現在の理事長)。その程度の古さのことなのです。

わたしがここで主張したいのは、ここ何回も評議員選挙の選挙結果の票数が選挙母体である天文学会特別会員の前に発表されない不思議を誰も疑問に思わない異常な事態のことです。このことが評議員選挙の投票率が極めて低い遠因なのではと心配するからです。

民主主義が人間社会で最も優れた制度と主張するつもりはありません。しかし選挙結果のその票数が選挙母体に公表されない選挙を私は知らないのです。私は4年前の総会で、なぜ票数を発表しないのかを選挙制度を取り入れたときの事情を説明して追求しました。その時、票数を発表しない明快な理由は聞けませんでしたし、発表するつもりもないでのその用意さえなく、次回には総会で発表するよう検討するとの返事をもらいましたが、2年後、すなわち2年前の総会でも発表はされませんでした。私は残念ながらこの総会に出席できなかつたので追求できませんでした。

そして2年、今年評議員選挙が行われました。今年も選挙結果は隠されるのでしょうか。4年前私は、選挙結果を公表されしないのは、当時世界でも悪評高かつたフィリピンのマルコス大統領の大統領選挙よりひどい非

民主的な選挙だと発言した覚えがあります。

私はすでに50歳を過ぎ、現在天文学会を牛耳っている実務理事より年かさになつてしまつたが、わたしより若い庶務理事により選挙結果の票数が隠されるという非民主的暴挙が行われていることに驚きと怒りを禁じ得ないのでした。

どうして選挙結果が発表されないのでしょう、どうして票数の発表をためらうのでしょう。民主主義の否定ではないですか。選挙管理委員会が理事長に選挙結果を伝えないはずがありません。なぜ選挙結果が総会で選挙管理委員会から報告されないのでしょう。なぜ庶務理事が報告するのですか。公平な第3者機関として理事会でない委員会を組織しているはずではありませんか?わたしは選挙管理委員会、理事会で不正が行われ、選挙結果が歪められていると言つてゐるのではありません。選挙母体に結果を発表しない不思議を疑問に思つてゐるのであります。なぜ隠すのですか?

わたしは、ここに昭和50年2月8日の理事会の評議員選挙細則審議経過(4)なる記録をもつてゐます。ここにはつぎのような文章があります。

「選挙管理委員長は、定款に基づいて選挙結果を総会に報告する任務があるのでから“総会には必要な事は(票数迄つて)報告される。”という事を共通の前提として確認して、議論をまとめたらどうか」という提案がなされ、これが採択され、この事を審議経過に於ける了解事項として選管に申し送る事が確認された。この確認の上で議論は急速に収束し……

と続くのである。総会に票数が発表されることは、天文学会民主化改革の評議員選挙のキーポイントだったのです。このことをわたしはコピーを添えて当時の庶務理事に手渡したのですが無視されたのです。

選挙結果を選挙母体に公表しないでもいい世の中に変わったのでしょうか?

私の疑問に答えて下さい。まもなく平成6年度春季年会の総会がきます。また選挙の票数は隠されるのでしょうか!!!!!!

中桐正夫(特別会員)

重要な事柄なので選挙管理委員長と相談のうえ本号に掲載いたしました(編集部)。

編集委員 谷川清隆(編集長)	坂尾太郎	田代信	中川貴雄	中村士	濱部勝	林左絵子	半田利弘
平成6年3月20日	発行人	〒181	東京都三鷹市大沢2-21-1	国立天文台内	社団法人	日本天文学会	
印刷発行	印刷所	〒162	東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12	啓文堂	松本印刷		
定価 700円(本体 680円)	発行所	〒181	東京都三鷹市大沢2-21-1	国立天文台内	社団法人	日本天文学会	